



ICJLE 2024

日本語教育国際研究大会

Diversity & Expertise 多様性と専門性

2024年8月1日～3日

米国ウイコンシン州マディソン市

ご寄付のご案内

2024年日本語教育国際大会(ICJLE 2024)とは？

開催地: ウィスコンシン州マディソン市

日程: 2024年8月1日～3日

形態: 対面学会 (一部ハイブリッド)

参加人数見込み: 対面学会参加者500人、ハイブリッド100名

参加者見込み: 世界各地からの日本語教育関係者・学生



Co-sponsoring organizations

The American Association of Teachers of Japanese (AATJ)



Canadian Association for Japanese Language Education (CAJLE)



Co-sponsored by

Global Network for Japanese Language Education



Website: <https://go.wisc.edu/icjle2024>

ICJLE 2024 のテーマ: 多様性と専門性

なぜ多様性と専門性？

- 世界各地の様々な人々が様々な機関・状況、目的、方法で日本語を教え・学んでいます。言語教育の現場は常に、政治・経済・社会・文化・環境・テクノロジーの変化を常に如実に反映しているといっても過言ではありません。
- この国際大会では、世界各地で日本語教育に従事する人たちが一堂に会し、私たちの直面する現状の多様性と、今後も変化し続けるであろう日本語教育の様相を再認識し、それに対応できる教育者に求められる資質・専門性を共に模索していきたいと思っています。



ICJLE 2024:プログラムのハイライト

様々なイベントを準備し多角的にテーマに挑みます！

- **3つの基調講演**
 1. パトリシア・ダフ氏(ブリティッシュコロンビア大学教育学部教授)
 2. 安座間喜治氏(サリナス学校区学校教育主任)
 3. 竹森ジニー氏(翻訳家)
- **2つのシンポジウム**
 1. 「対面でのことばの学びの場に秘められた可能性とは？」
 2. 「次世代の教育者を育てる」
- **約180の口頭発表・インタラクティブワークショップ**
- **約80 のポスター発表**
- **参加者の交流の場・レセプションとディナー**



今現在、2024年日本語教育国際大会(ICJLE 2024)は下記の団体にご支援いただいております。

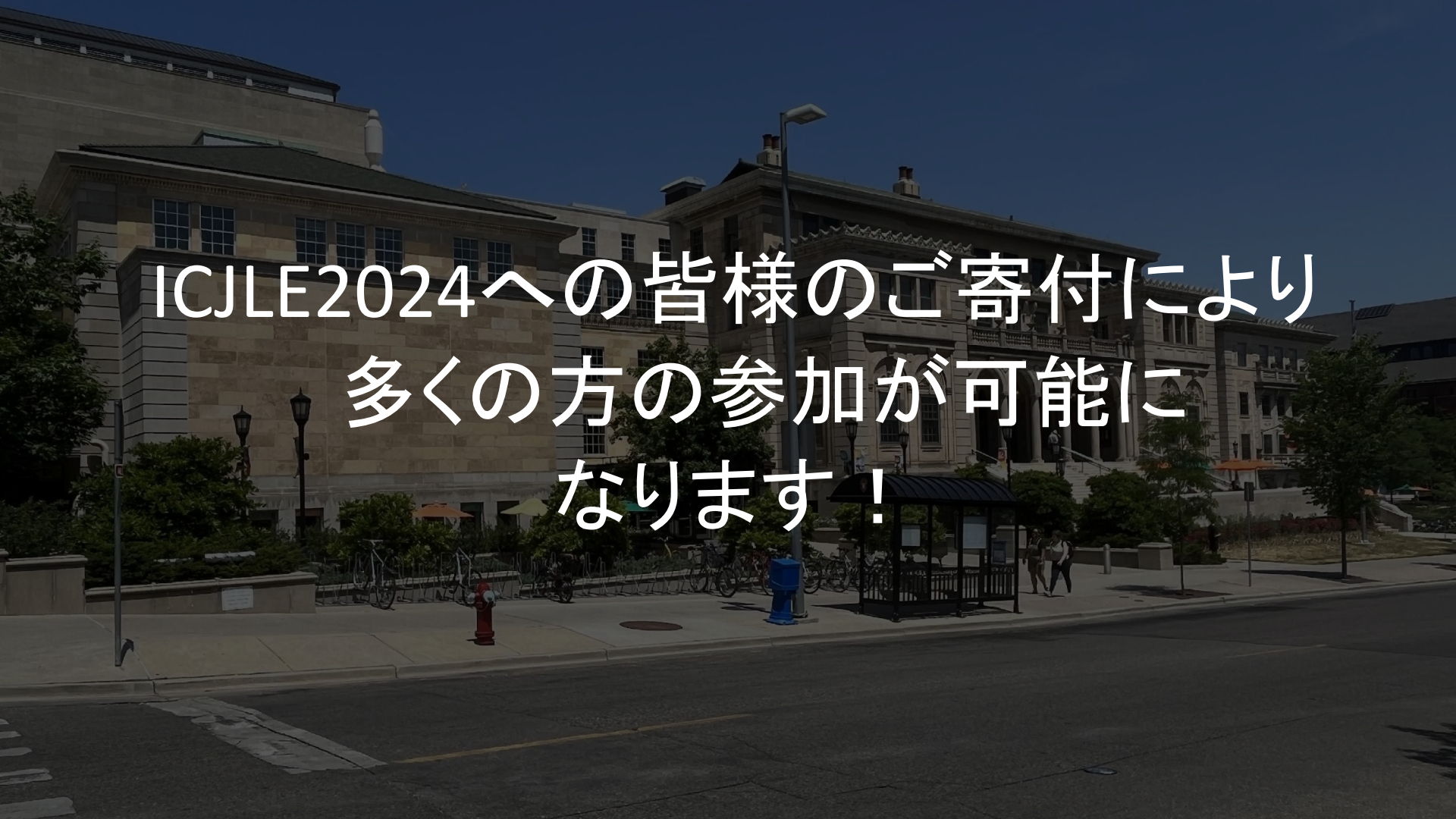
- 尚友倶楽部
- 国際交流基金*・ロサンゼルス日本文化センター
- 国際交流基金*・トロント日本文化センター
- シカゴ総領事館
- ウィスコンシン大学マディソン校
東アジア研究センター
アジア言語文学学科
ランゲージ インスティテュート
- 全米日本語教育学会 (AATJ)
- カナダ日本語教育振興会 (CAJLE)

*外務省関連団体



Website: <https://go.wisc.edu/icjle2024>





ICJLE2024への皆様のご寄付により
多くの方の参加が可能に
なります！

1. 幅広い教育者・研究者の参加促進に貢献！

多くのスポンサーや寄付金を集めることで大学院生や初等・中等教育からの参加者の登録費補助が可能になります。特に、2023年11月末日までの個人寄付は、登録費軽減に使い、多くの方に参加していただけるように努めています。

ICJLE 2024が現在直面している2つの課題：

1) インフレ：インフレによる宿泊費と航空運賃の高騰、2024年も上昇し続ける見込みだと言われている。(https://bit.ly/3RKBIf0)

インフレ率: <https://www.usinflationcalculator.com/inflation/current-inflation-rates/>

2) 為替レート：ドル高により、参加者は為替レートの影響を大きく受ける。
登録料や宿泊費は米ドルで設定されているため、参加者は為替レートの影響を大きく受ける。

* 2023年8月10日現在の米ドル為替レートは以下の通り：
1米ドル=149.09円 / 1米ドル=1.37カナダドル

いくらからでも結構です！ご寄付を是非お願い致します！



2. 世界における日本語教育の推進・振興！

世界各国の日本語教育分野の研究者、実践者、関連団体関連者、学生等が集まる日本語教育の分野では最も規模の大きな大会です。これまで日本、韓国、中国、米国、オーストラリア、台湾、インドネシア、イタリアで開催されてきました。ICJLEは「日本語教育グローバル・ネットワーク(GN)*」の中核となす活動の一つとして位置づけられています。

* GNについては次のスライド参照。

ICJLEの過去の開催地:

2004年	日本・東京	2006年	ニューヨーク, 米国
2008年	韓国・釜山	2009年	オーストラリア・シドニー
2010年	台湾・台北	2011年	中国・天津
2012年	日本・名古屋	2014年	オーストラリア・シドニー
2016年	インドネシア・バリ	2018年	イタリア・ヴェネツィア



これまでのICJLEの参加者: 国、地域別リスト

北アメリカ (米国, カナダ), ヨーロッパ諸国, アジア (日本, 中国, 韓国, インドネシア, ベトナム, タイ, フィリピン, マレーシア, 台湾), オーストラリア, ニュージーランド

ICJLE 2024は国際的ネットワークである日本語教育グローバルネットワーク (GN)との共催です!

日本語教育分野における関係者間の国際的な情報交流および連携を促進し、実践活動と学術研究の国際的発展と進行を図ることを目的として2009年に発足した国際的ネットワーク組織です。現在は12カ国・地域をそれぞれ代表する日本語教育の学会教師会等が加盟しています。(インドネシア, カナダ, 韓国, オーストラリア, 日本, シンガポール, 米国, 台湾, 中国, ニュージーランド, 香港, ヨーロッパ).



3. 米国で日本語教育の発展に大きく貢献しているウィスコンシン大学 マディソン校に日本語教育関係者が一堂に会する機会を提供します！

- 1849年創立
- 米国での日本語教育の発展に大きく寄与した、中心的な大学の一つです。
- 北米でも数少ない日本語・日本文学の博士号・修士号のプログラムをもつ大学であり、特に日本語教育に力をいれてきたことで知られています。
- 科学技術日本語教育の先駆けであったことでも知られ、現在も人文・社会系のみならず、理科系の学生たちも多く日本語を学んでいます。



学会開催地: 米国ウィスコンシン州マディソン市

米国主要都市から直行便があり、シカゴからも車で2時間半で行けるアクセスしやすい米国中西部都市、湖に囲まれ自然豊かで美しいウィスコンシン州の州都です！



大会会場： ウィスコンシン大学マディソン校、メモリアル・ユニオン

湖岸に面した歴史ある建物で、開会式、基調講演から、シンポジウム、ワークショップ、論文発表、展示、大会懇親会ディナー等、学会の全ての活動がここで行われます。スポンサー・出展企業の展示テーブルは湖に面したテラスへアクセスできるお部屋に設けられ、参加者にも多く利用していただける場所になります。



4. ICJLE 2024は日本語教育と人材育成を通して社会に貢献します！



ICJLE2024のテーマ：多様性と専門性

日本語教育

2021年現在、日本を含む141の国と地域で約400万人が日本語を学んでいます。教育機関数も2万弱あり、約11万人が日本語教育に携わっています。また、2020年のDuolingoの調査では日本語は世界で最も学習者が多い言語第5位(1位英語、2位スペイン語、3位フランス語、4位ドイツ語)となっています。*

* [国際交流基金2022年Press Release](#)・[文化庁\(令和3年資料\)](#)・[Duolingo Language Report 2022](#)より

グローバル人材育成

言語教育とは、単に文法や発音を教えることだけではなく、その言語の背景にある文化の理解を促すことでもあり、その言葉話す人々と信頼関係を築き、より円滑なコミュニケーションが図れる人材を育てることにつながります。

グローバルな視点が欠かせない社会にあって、多様な背景をもつ他者を理解し、尊重する次世代を育てるために、私たち日本語教育者は日々努力を重ねています。

5. ICJLE 2024は以下のことを指示し、推進します！

包摂性 (インクルージョン)

オールジェンダートイレが設置された施設、車椅子でのアクセスが可能な等施設の利用により、様々なニーズに対応し、より多くの方に参加していただけるようにしています。

多様性 (ダイバーシティ)

シンポジウムやワークショップ、口頭発表やポスター発表などを行い、多角的に日本語教育現場での教育活動の支援を行い、様々な学習者をサポートできるようにしています。

公平性 (エクイティ)

幅広い日本語教育関係者に参加していただくため、初等教育者や大学院生の ICJLE への参加・旅費の補助(一部)及び学会登録費の割引設定行っています。

持続可能性 (サステナビリティ)

環境問題について考えられた施設を使用し、参加者にもリサイクルに積極的に参加を促し、ご支援をお願いします。



お問い合わせ先

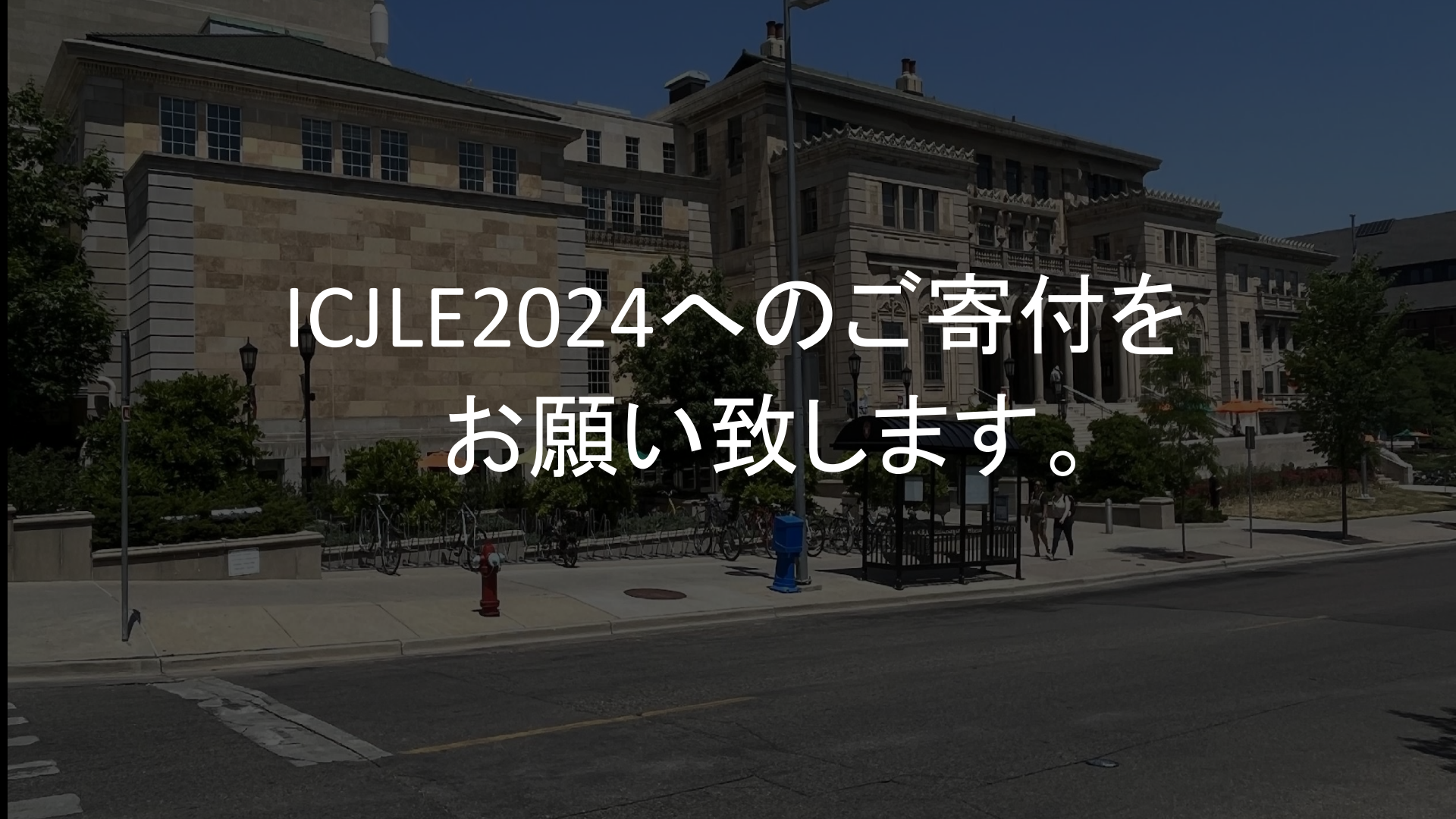
スポンサーパッケージ等についてご質問等ございましたら、ICJLE実行委員会担当者まで直接お問い合わせください。

- ICJLE 2024大会について
森 純子(大会実行委員長) : jmori@wisc.edu
- スポンサー、出展、寄付の送金について
スーザン・シュミット(AATJ事務局長) : susan.schmidt@colorado.edu

ICJLE 2024 大会メールアドレス: icjle2024info@aatj.org

ICJLE 2024 大会ウェブページ: go.wisc.edu/icjle2024





ICJLE2024へのご寄付を
お願い致します。